

1) システムの名称 :

SBS DoctorX Series / PrimeKarte (ドクターエックスシリーズ / プライムカルテ)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

2. 所見記述系 (電子カルテ)

3) 特色 :

■進化した電子カルテ

PrimeKarte は弊社電子カルテ DoctorX をベースに開発した新しい電子カルテです。生涯カルテを目指し、「トータルヘルスケアサポート」を実現します。

■驚異のレスポンス

電子カルテシステムはレスポンスが非常に重要となります。PrimeKarte では弊社電子カルテ DoctorX に比べ、患者選択、オーダ発行等の処理速度が飛躍的に向上し、快適なレスポンスを実現しています。

■標準化に対応

標準マスターの採用及び「HL7」等の標準的情報交換規約を採用しており、今後一層進んでいく医療情報データの標準化に柔軟に適応できます。

■経営支援

物流システム、経営支援システム、人事・給与システムと密接な連携を行い、経営を協力にサポートします。

■多彩な入力形式での診療録入力

カルテと SOAP の記載には、様々な入力事項があります。PrimeKarte ではこれらの入力の負担を軽減し、各種データを有効活用できるように、テンプレートを開くことで、入力の簡便化、記述内容の統一、入力データの活用（統計など）を実現します。また、フリーテキスト入力による、定型では補えない表現の入力もできます。

■操作性の向上

検査結果・指示歴・カルテの参照、オーダの入力、カルテの記入が同時にできます。

入力を途中で保留にして他の作業に切り替えることができますので、患者様の状態・経過をリアルタイムで確認しながら、オーダの入力やカルテの記入をスムーズに行うことが可能です。また、マルチ・モニターを使用することにより、より多くの情報を同時に閲覧することができます。

■紙文書の電子化に対応

「紙」で発生する文書については、スキャナで取り込むことができます。業務終了後にまとめてスキャンニング処理する運用を実現し、紙カルテのファイリング業務の軽減、電子カルテ化を図ります。

■カルテの Web 参照

過去のカルテを Web で参照することができます。処方歴や検査結果、手書文書のスキャナ取込や SOAP の記載などを閲覧することができます。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明 :

テンプレート入力方式と
フリーテキスト入力方式

カルテ情報は過去の記載
をWebで参照できます

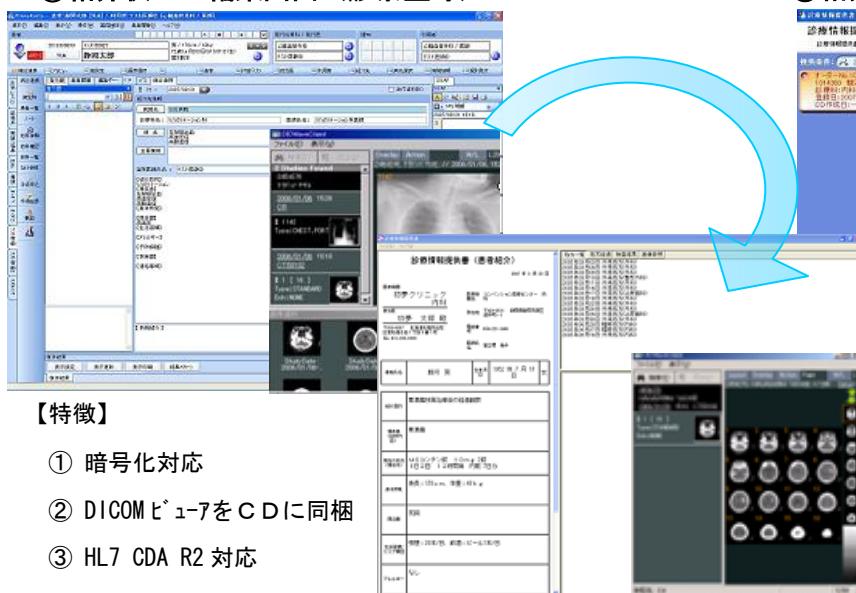
簡単なテンプレートと
スタンプ作成機能

文書管理機能による
ペーパーレス化の実現

PrimeKarte イメージ図

【紹介状CD発行・参照画面イメージ】

①紹介状CD編集画面（診察室等）



②紹介状CD作成画面（病診連携室等）



③紹介状CD参照画面

5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

- マスター／コード体系：標準医薬品マスター、標準病名マスター、標準手術・処置マスター（MEDIS-DC）、臨床検査項目分類コード（JLAC10）JJ1017 画像検査コード Ver3 を利用可能（全て標準で提供）
- データ交換規約：HL7（Ver2.5）／患者基本（ADT）、投薬系（OMP）、検査系（OML）、放射線（OMG）、各システムと連携に利用可能。HL7 CDA R2（紹介状システムにて採用・実装）
- データ交換手法：TCP/IP ソケット、XML ファイルに対応
- IHE-J コネクタソン実装：SWF/Order Placer
- 厚生労働省電子的診療情報交換推進事業規格適合済み

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

【サーバ構成】

UNIX(R) または Linux(R) または Windows Server 2003(R) 日本語版以降

【クライアント構成】

Pentium(R) 以上の Intel(R) プロセッサ（Core2Duo を推奨）

Windows(R) XP SP2 日本語版以降

1GB 以上の RAM

7) 稼動までに必要な作業・期間：

病院担当者様及び部門システムベンダー様との打合せ（仕様の確定まで）・半年～1年程度

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

1,000万円～（パッケージ価格）+SES（カスタマイズ費・機器費・交通費除く）+連携費
（※税別）

9) 保守の内容と費用：

初期教育：医師向け及び看護師向け講習会開催

初期導入保守：稼動及び運用開始立会い

遠隔保守：ルータ及び遠隔監視ソフトによるリモートメンテナンス（電話回線費用は別途）

通常保守：月額 10 万円～（導入オーダ種数による）……サーバの定期監視、障害発生時訪問。

（ハード保守費除く）

（※税別）

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）：

問合せ先：株式会社SBS情報システム <http://www.sbs-infosys.co.jp>

〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂 3-1-1

TEL : 054-283-1450 ; FAX : 054-284-9182

医療事業本部 営業担当

Mail : iryo@sbs-infosys.co.jp